

8月17日社内講習用

Last updated by | 三輪 武史 | 2020年8月3日 at 23:31 JST

Contents

- 目標
- 内容
- 対象
- 当日講習までに実施しておくこと
 - 環境構築
 - VSCode
 - 拡張機能のインストール
 - ターミナルの権限
 - インストールの確認
 - Angular Cli
- 補足
 - 開始にあたって知っておいてほしいこと
 - SQL Serverを構築した人へ

目標

最新のWeb開発の一つであるSPAの開発手法を知る

内容

DB接続ができる業務画面実装の体験

対象

- Java・C#でのオブジェクト指向を理解している
- WindowsFormやWebPageの開発経験がある

当日講習までに実施しておくこと

環境構築

ブラウザは、Chrome or Edge(Chromium) お願いします。

各自でインストールを行ってください。

VSCode（またはVisualStudio）

node.js（LTSの最新版）

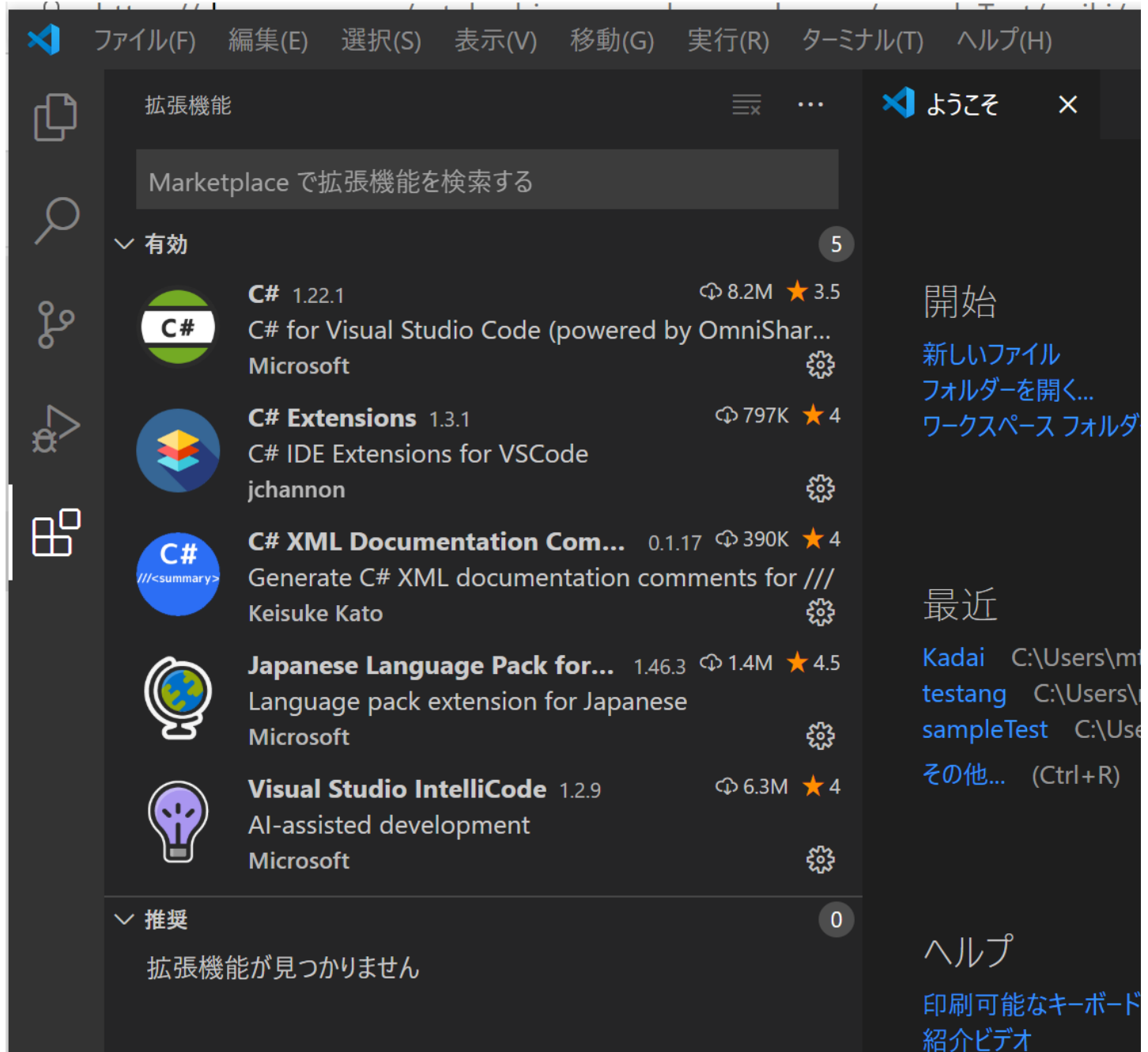
.net Core 3.1 SDK

※Visual Studioの方は、機能の追加から追加してください。
また、Web開発のパッケージをインストール必要があります。

VSCode

拡張機能のインストール

一番上のC#がコンパイルで必須となります。



ターミナルの権限

ngコマンドが使用できるように、Powershellの権限を変更してください。
cmdが好きなんです。という人は不要。（頑張って画面切り替えしてください。）

インストールの確認

VSCodeでターミナルを起動するか、cmdのどちらかを起動して、コマンドが使えるようになっているか確認をします。

```
問題 出力 ターミナル デバッグ コンソール
1: powershell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新しいクロスプラットフォームの PowerShell をお試しください https://aka.ms/pscore6

PS C:\Users\mtake> dotnet --version
3.1.201
PS C:\Users\mtake> npm --version
6.14.4
PS C:\Users\mtake> 
```

```
dotnet --version
npm --version
```

.net Coreとnode.jsがインストールできてれば、インストールしたバージョンが表示されます。

Angular Cli

講習で使用するAngularのパッケージをインストールします。

```
npm -g @angular/cli@8.3.25
```

のバージョン指定でインストールをしてください。

(作成中にver9になってしまったので...さらに8月現在、ver10が公開されています...)

ワークスペースの作成を行います。(C#でいえばプロジェクト)

```
ng new my-app
```

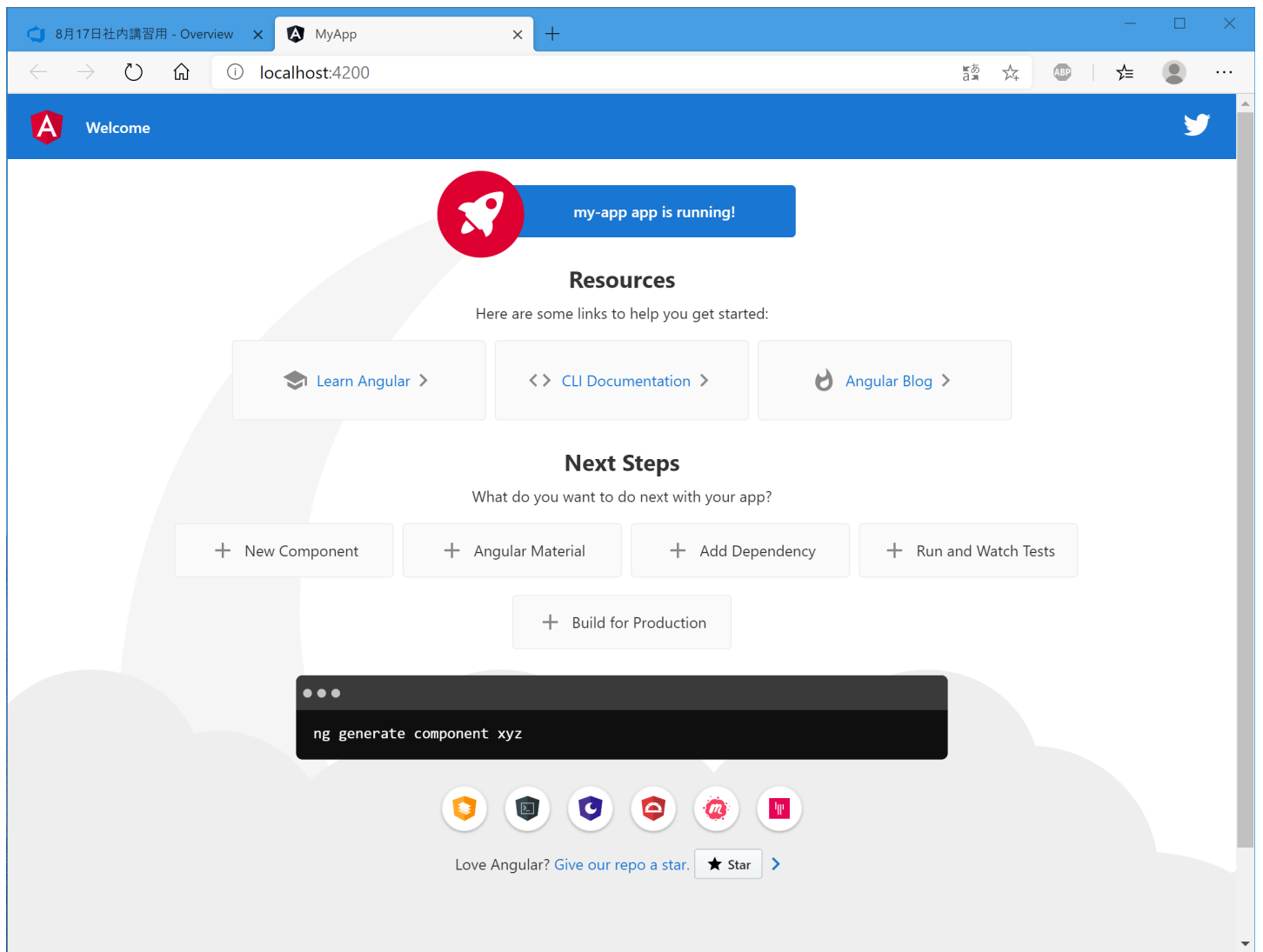
選択が出てきますが、基本"y"で問題ありません。

スタイルシートは"CSS"を選択してください。

ワークスペース内部に移動し、アプリケーションを実行します。

```
cd my-app
ng serve --open
```

Welcomeページが表示されたら、セットアップ完了です。



参考 公式セットアップ

補足

開始にあたって知っておいてほしいこと

今回で説明しませんので、各自で調べていただけると理解が深まります。

- MVC
- DI依存注入
- RESTAPI
- O/R MAP
- async/await

SQL Serverを構築した人へ

query.sqlにDDL、data.txtにデータがあります。

appsettings.jsonに以下の設定を行ってください

```
"SqlServer" : "構築したSqlServerの接続文字列"
```

C#ロジックで接続文字列が設定されていたら、DBからデータを取得するようにコーディングしています。